

# サステナビリティ経営方針

2025年5月

有限会社 大幸製作所  
代表取締役 大出 幸秀

# サステナビリティ経営方針

## 世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。また、近年、SDGsへの関心の高まり等、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

## 当社事業の意義

当社はシャッターを中心に長尺の住宅用建材が主な取扱商品です。長尺の建材は一般的な建材に比べ取り扱いが難しく、担い手が限られていますが、当社は技術の向上に努めた結果、多くの企業の課題解決の一助となっており、社会に貢献しています。また、カーボンニュートラルに向けた取り組みを自社で行う他、講演会等を通じて自社の取り組みを発信し、地域や業界の発展に寄与しています。

## 今回の検討結果

当社はこれまでお客様満足の追求による技術の向上を信条とし、社員一同業務に取り組んできましたが、企業への環境配慮の要請の高まりや人手不足の解消等、新たな課題も顕在化しています。当社が持続可能な成長を実現するためにはこうした課題を解決することが必要と考え、マテリアリティに設定し重点的に取り組んでまいります。



環境負荷の低減



ダイバーシティ経営の推進



労働災害防止



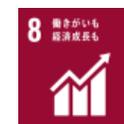
人材育成

# サステナビリティへの具体的な取り組み

|          |  |
|----------|--|
| マテリアリティ  | <b>環境負荷の低減</b>   |
| 選定理由     | 環境負荷の低減を図ることはカーボンニュートラルの達成が期待されることからマテリアリティとして選定。            |
| アクションプラン | 太陽光発電設備の追加設置やハイブリッドカーへの入替等によって、創エネと省エネを促進することで、GHG 排出量を削減する。 |
| 取り組み効果   | カーボンニュートラルの実現  |



|          |  |
|----------|--|
| マテリアリティ  | <b>ダイバーシティ経営の推進</b>  |
| 選定理由     | 年齢・性別・国籍にかかわらず公平な就労機会を創出することは多様性の促進と雇用の創出が期待されることからマテリアリティとして選定。 |
| アクションプラン | 女性が活躍できるように、準社員制度を活用することで、J従業員希望に応じた勤務体系を整備する。                   |
| 取り組み効果   | 多様性の促進<br>雇用機会の創出  |



## KPI(目標と指標)

- 2030年までに、GHG排出量を2020年対比で42%減少させる。

## KPI(目標と指標)

- 2026 年までに、えるぼし認定を取得する。

# サステナビリティへの具体的な取り組み

## マテリアリティ

### 労働災害防止の徹底

#### 選定理由

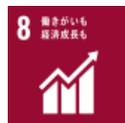
労働災害の防止を徹底することは、社員が安心・安全に作業できる環境の整備につながるだけでなく、生産性の向上や作業効率の改善にも寄与し、持続可能な生産体制の構築に不可欠と考えることから、マテリアリティとして選定。

#### アクションプラン

現場社員が安全に関する外部講習の受講する。  
受講した内容を社内に浸透させ安全に対する意識を向上させる。

#### 取り組み効果

従業員の安全確保  
生産性の向上



## マテリアリティ

### 人材育成

#### 選定理由

人材育成への取り組みを強化することは、経営理念の実現、品質向上への効果が特に高いと考えることから、マテリアリティとして選定。

#### アクションプラン

ベテラン職人による実践指導を通じて、知識と技能の向上に取り組むことで資格取得者数を増加させる。

#### 取り組み効果

企業の持続的な成長を支える  
従業員のモチベーション向上



#### KPI(目標と指標)

- 労働災害事故を0件にする。
- 同社から外部講習へ年間5回参加。安全衛生推進者による安全に関する勉強会を年間5回実施する。

#### KPI(目標と指標)

- 板金加工技能士3級以上を年間2名以上取得する。